

12月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R4. 11. 30 文京区立本駒込幼稚園



地域の中で共に育つ

副園長 山下 美幸

11月になり、園庭の樹木の葉がきれいに色付き、季節が徐々に冬に向かって移行していることを感じます。気温の低い日もありますが、天気の良い日は、園庭に陽の光がいっぱいに降り注ぎ、温かさを感じながら元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られます。

先日、未就園児の会である「ひよこ広場」に遊びに来た1・2歳児の子が、年少ちゅうりっぷ組の乗っていた三輪車を使いたくなり、遊んでいたちゅうりっぷ組が「いいよ」と言い、その子の目の前まで運んでいる姿が見られました。また、木のアスレチック遊具に登ろうとしていたひよこ広場の子に、年中さくら組が「こうやって登るんだよ」と教えたり、砂場で遊び始めた子に目線を合わせて「シャベルとかあるよ」と声を掛け、道具を持ってきて渡したりする姿も見られました。園内でも、学年を超えて関わる姿は日常的に見られる光景の一つですが、年長組にいつもしてもらうような行為をしている年長・年中組の姿が見られ、とても微笑ましく思いました。未就園児の親子にとっても、好意的に関わる園児の姿に安心感や温かさを感じる機会となっていると感じます。

11月中旬に、年長すみれ組は、本駒込保育園の年長かぜ組と交流をしました。本園は保育園だけではなく、昭和小学校、第九中学校との交流活動を行っていますが、コロナ禍のため、交流自体2年間ストップしていました。今回、久しぶりに保育園との交流を再開することができました。就学時健診をしている時期だったため、中には小学校で顔を見かけたような子もいたようです。一緒にカードめくりのゲームを行い、楽しい時間を共有することができました。交流の機会は、子どもにとって地域を知る機会の一つとなりますし、今回の交流では、就学への期待もさらに膨らむことにもつながっていると感じました。未就園児、保育園児との交流を通し、互いに育まれ、経験できることがたくさんあることや地域の中で共に育つことの大切さに改めて気付かされます。

明日から12月です。交流を始め、他の行事も感染対策を講じながら、昨年よりも参加人数を増やし、内容をコロナ禍以前にしていたことを現状の中でできる内容を精選して計画しています。

12月の年中・年長組の発表会では、参観人数を昨年よりも増員して開催します。12月中旬のもちつき会では、さつき会の役員を始め、当日ご協力いただける保護者の方の力をお借りして実施する予定



です。もちつき会では、保護者同士も関わり、力を合わせていくことで、楽しい行事につながることを実感できるような機会となるようにしていきたいと思っております。

「はじめまして」みんなで顔合わせ 「負けないぞ！」カードめくりゲーム

すみれ組と保育園児との交流の様子